

事業のあらまし

東海環状自動車道は、名古屋市の周辺 30～40km 圏に位置する四日市市、東員町、いなべ市、大垣市、岐阜市、関市、土岐市、豊田市等の諸都市を有機的に結ぶ延長約 160km の高規格幹線道路です。

また、新東名高速道路、新名神高速道路、伊勢湾岸自動車道と一体となって、我が国の重要幹線道路である東名高速道路、名神高速道路、中央自動車道、東海北陸自動車道および東名阪自動車道を相互に連結しながら環状を形成する名古屋都市圏の骨格道路です。

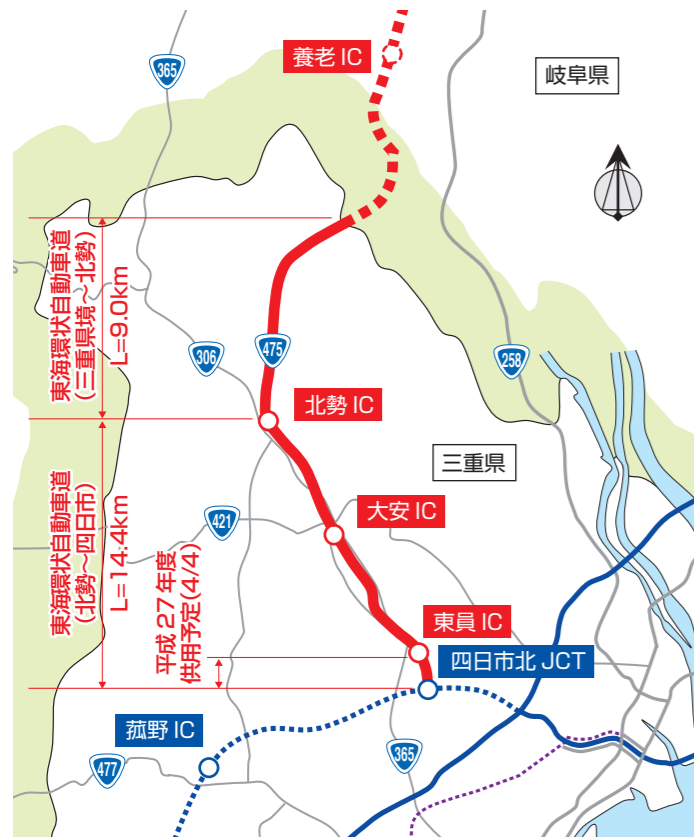
四日市北 JCT (仮称)～養老 IC (仮称)間は、四日市北 JCT (仮称)で新名神高速道路と分岐後、員弁川の右岸を北上し、東員町を経て、いなべ市北勢町から三重県と岐阜県の県境を越え、岐阜県養老郡養老町に連結します。その後養老 JCT にて名神高速道路と接続します。

概要

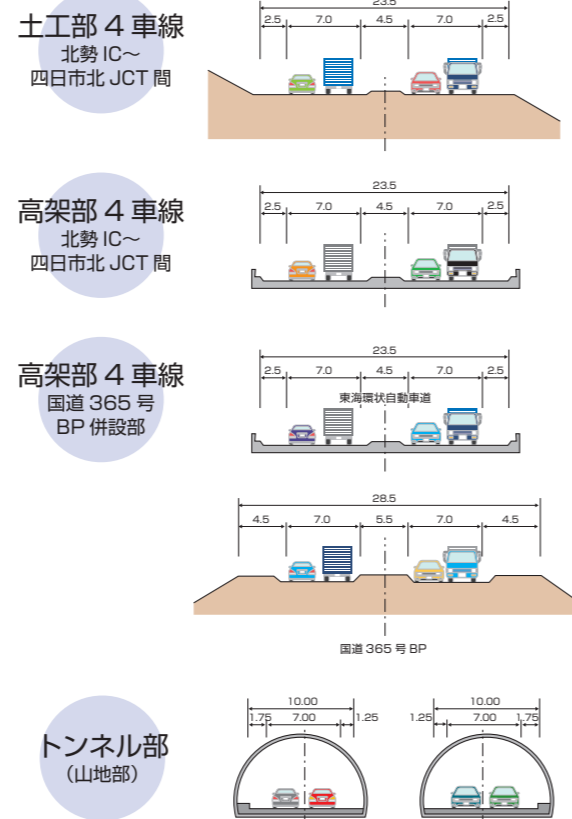
- 起点 三重県四日市市北山町
- 終点 三重県いなべ市北勢町
- 路線延長 23.4 km
- 幅員 23.5m (4車線 × 3.5m)
- 構造規格 第 1 種第 2 級 設計速度 100km/h



平面図



断面図



事業の歴史

- 平成 2 年度 事業着手 (いなべ市北勢町～四日市市北山町)
- 平成 4 年度 都市計画決定 (いなべ市北勢町～四日市市北山町)
- 平成 9 年度 工事着手



三重県区間起工式

- 平成 16 年度 豊田東 JCT ～美濃関 JCT 間開通 (平成 17 年 3 月)
- 平成 19 年度 都市計画決定、事業着手 (岐阜三重県境～いなべ市北勢町)
- 平成 21 年度 美濃関 JCT ～関広見 IC 間開通 (平成 21 年 4 月)
- 平成 23 年 6 月 一般国道事業と有料道路事業による整備が決定 (関広見 IC ～(仮称)四日市北 JCT 間 約 77km)
- 平成 24 年度 大垣西 IC ～養老 JCT 間開通 (平成 24 年 9 月)
- 平成 25 年 9 月 いなべ市内本格工事着手、いなべ市内着工式



いなべ市内着工式 (平成 25 年 9 月)

現在の状況

東海環状自動車道は、現在、東回り(豊田東 JCT ~ 関広見 IC 間)区間の延長約 76km と、西回り区間(関広見 IC ~ 四日市北 JCT(仮称)間)のうち大垣西 IC ~ 養老 JCT までの延長約 6km が開通しています。

三重県内では、東員 IC(仮称)~四日市北 JCT(仮称)間の平成 27 年度開通を目指して平成 25 年度より東員 IC(仮称)~四日市北 JCT(仮称)間の橋梁上部工事の架設に着手、北勢 IC(仮称)~東員 IC(仮称)の橋梁下部工事等に着手するとともに、県境~北勢 IC(仮称)の用地取得に着手します。



平成 27 年度開通を目指す(仮称)東員 IC(平成 25 年 3 月撮影)



(仮称)東員 IC の橋梁架設を開始(平成 25 年 9 月撮影)

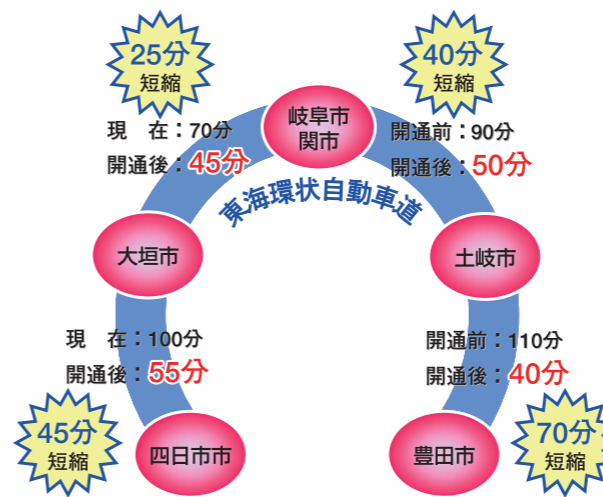
整備効果

所要時間の短縮

名古屋圏の緒都市がともに連結されることにより、都市間の所要時間が短縮され、利便性が向上します。

※下図内の移動時間は各市役所間の所要時間で、岐阜市・関市は関市役所を基準にしています。また、旅行速度を東海環状 70~100km/h、一般道 30m/h で算定しています。

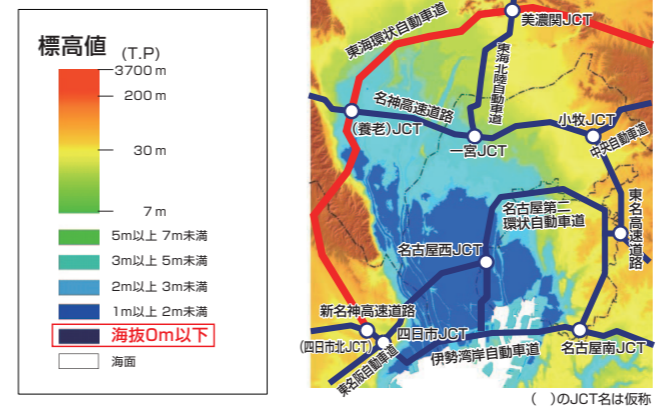
所要時間の短縮図



災害に強い道路

東海環状自動車道は、海拔ゼロメートル地帯を迂回しており、高架構造が大半を占めるため、河川氾濫等の浸水時にも避難・救助・復旧・復興のための道路ネットワークとして役割を果たすことが期待できます。

東海環状自動車道と 海拔ゼロメートル地帯



医療機関へのアクセス向上

救命救急センターに 30 分以内に行ける地域が拡大することで、より多くの方々の生命が守られます。

※出血多量の場合は、30 分以内に病院に搬送できれば、5 割の方の命が助かるとされています。

地域救命救急センター 30分アクセス圏

東海環状の整備により
桑名・いなべ生活圏における
人口カバー率が上昇

71% → 87%



[救命救急センター]とは…
初期、第二次医療施設の后方病院で、重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者を 24 時間体制で受け入れる医療施設です。



出典：カーラー救急圏

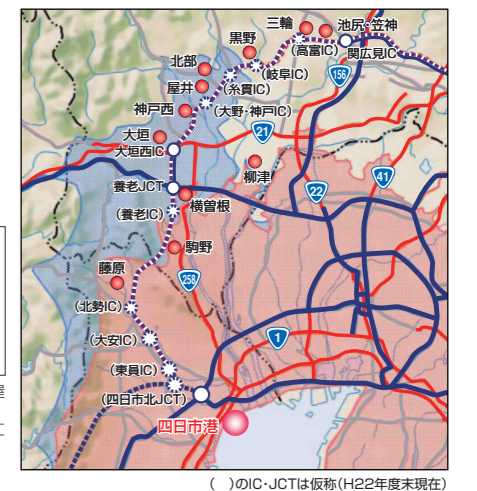
地域経済活性化の支援

東海環状自動車道西回り区間の整備により、名古屋港・四日市港からの 60 分圏内が拡大し、名古屋港・四日市港の背後圏への物流の効率化が可能となります。

更に西回り区間沿線において、工業団地の整備・計画が進められており、西回り区間の開通により、沿線市町の地域経済の活性化が期待できます。

西回り区間沿線での 工業団地の立地・計画状況および 名古屋港・四日市港の 60分圏の拡大

デジタルロードマップより名古屋港・四日市港60分圏域を計算
事業所数・製造品出荷額は、H17工業統計メッシュデータから計算



()のIC・JCTは仮称(H22年度末現在)